

使いかた（つづき）

前方衝突警告機能について

前方車のイメージが警告基準に達していると本機が判断した場合、ドライバーに注意喚起し、安全な車間距離を保つために警告します。しかしこの機能の判断精度は以下の場合に影響を受けますので、あくまで補助的な機能としてご使用ください。**必ず実際の走行中の状況に合わせて運転をしてください。**

- 空が暗くて灯りが不足している
- 大きなカーブがあるような山道を運転しているとき
- 複雑な車線で構成されているような道を運転しているとき
- 前方車によって、水が飛び散る、雪やホコリが舞い上がったとき
- 嵐を通過中、または霧やホコリの多い場所
- 太陽に向かって運転しているとき
- 日没時、薄明かりが空に残っている場合
- ビルやガードレールの影でマークした線が隠れた場合
- トンネルに入ったときなど、明るさの一時的な変化
- 外部環境の光が著しく変化した場合
- 反射板などからの強い光を受けたとき